第３９回　生理学技術研究会参加報告

共通機器部門・情報基盤機器管理班

新開 薫

**1. はじめに（目的等）**

多方面分野に携わる技術職員が日常業務作業等を行う中で、創意工夫・研究開発検討・事例失敗報告等含めた案件を発表者及び参加者同士で、技術向上・情報共有交流と討論意見交換で、情報・最新知識等を習得するため。今回は、ポスタ―発表・奨励研究発表・口演発表の場を通じて、　　　業務に関係する技術と関連性がある技術も含めて、情報収集を行うために参加した。

**2. 期間・場所**

期間：平成 29 年 2月16日（木）～17 日（金）

場所：自然科学研究機構（NINS） 岡崎コンファレンスセンター （岡崎市明大寺町字伝馬8‐1）

**3. 参加者等**

国立大学法人・公立大学法人・学校法人系等及び

大学共同利用機構法人　自然科学研究機構の技術職員、135名弱程度

**4. 研修内容**

１日目

・研修講演　細胞間結合を構成するタンパク質群の同定（生理学研究所・細胞構造研究部門

　古瀬　幹夫　教授）を大会議室にて聴講

・ポスタ―発表グループ　Ⅰ　２１件・ポスタ―発表グループ　Ⅱ　２０件を

展示発表会場にて情報収集と質疑意見・情報交換等

2日目

・奨励研究採択課題技術シンポジウム発表（１１件）を小会議室にて聴講と情報収集

・一般発表（１０件）を大会議室にて聴講と情報収集

**5. まとめと感想**

第２8回生物学技術研究会との合同開催で、生物形態系分野は、業務に関連性があるポスタ―発表・口演発表を聴講・情報意見交換が行えた。特に主体業務である。情報基盤系・実技育成　　　講習と関連性がある施設運営管理等のポスタ―発表では、発表者と直接、質疑応答を交えて、　　参加者同士で共感し、失敗例や技術意見交換を行うことができた。奨励研究・一般講演発表は、関係する実験・分子・医学系で、研究開発検討・製作の作業手順・創意工夫等においては、技術共有や意見交換が出来て、技術職員が携わる作業工程・利用方法・失敗体験談等の情報も得られ、とても有意義な研究会で、業務等で技術・情報活用と気転応用等を円滑に作業遂行したいです。